かせかけ No.22

Okinawa Prefectural College of Nursing
沖縄県立看護大学広報誌2013（平成25年）5.30

CONTENTS

●入学式★新入生歓迎…… 2
●新入生の声…… 2
●シリーズ　のぞいてみよう看護大学
・「疫学と保健医療情報 A」…… 3
・「身体活動論」と「身体活動論演習」…… 3
・国際学会に参加して…… 3
・平成 25 年度新入生宿泊研修…… 4
・サークル活動紹介「性・命の達人キラリサークル」… 4
●シンポジウム開催 …… 5
「島しょに求められる看護職者の役割拡大」
●ナーシング・キャリアカフェ OPEN…… 5
●新たな出発！卒業生からのメッセージ …… 6
●発見！素敵な横顔 …… 7
別科助産専攻新任教員
●退官記念最終講義 …… 7
●教職員の動き …… 8
●平成 25 年度 主な大学行事…… 8

入学式・新入生歓迎

学生会長：奥間政礎

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を学生会一同、心から歓迎します。本大学では、初めに「看護とは何か」ということからはじめ、そこから様々な理論や技術などを講義にて学び、さらに実習を通して学んでいきます。

たくさんの科目があり、忙しさはありますが本大学には、スポーツ系や文化系のたくさんのサークル、看大祭や渡嘉敷研修、球技大会などの楽しいイベントがたくさんあります。
また、県内外の看護系大学との交流を行う「学生コンソーシアム」があり、将来、現場に出た時に頼りになるたくさんの仲間づくりができる場となっています。

去った4月に行われた、新入生歓迎球技大会には一学年の 2/3 以上の生徒が参加をしてくれました。新入生の皆さんが、新しい大学生活のスタートとなったのならば、嬉しい限りです。本大学で学ぶことはたくさんあり、忙しさもあると思いますが、勉強だけではなく、スポーツや看大祭などのイベントなどに積極的に参加していただき、様々な年代の生徒と交流していくことで、充実した学生生活を送ることができると思うので、新入生の皆さんにも積極的に活動してほしいです。
一緒に楽しいキャンパスライフを送りましょう。

新入生の声

1 年次　玻名城静香

私は沖縄県立看護大学に入学することができて、とても嬉しく、自分の夢を叶えることができるこの大学で学ぶことを楽しみに思っていました。そして無事入学式を終え、ウェルカムランチや新入生歓迎球技大会、玉城青少年の家での宿泊研修、渡嘉敷研修などで、入学生や先輩、先生方との交流を通して、たくさんの人達と友達になることができました。これから医療に関わる仕事に就きたいという同じ志を持った仲間と一緒に学び、互いに刺激し合い、協力し合いながら自分の夢を叶えていきたいです。

別科助産専攻　友寄ゆりか

私は、本学の看護学科を卒業し、別科助産専攻に入学しました。本学の別科助産専攻では、分娩介助だけでなく、ウイメンズヘルスや離島での実習など様々なカリキュラムを通して、多様な学びができることを今から楽しみにしています。助産師としての土台を築く貴重な一年間を大切にし、同じ助産師を目指す仲間と切磋琢磨し合いながら、充実した学生生活を過ごしていきたいと思います。そして、将来的には助産師として、施設だけでなく母子にとってより身近な地域でも活動できる助産師を目指すとともに、沖縄県の母子保健医療に貢献できる人材となれるよう頑張りたいと思います。

博士前期課程　宮國友美

卒業して20年。助産師として経験を積み、現在は看護基礎教育に携わっている。学生の興味・関心をくすぐる教育方法をさぐり、学生の頭・手・心に残る授業を試行錯誤中である。後輩を育成するという教育の楽しさと、どのように関われば伝わるのかというジレンマの中、看護者としての自己を見つめ直す時間も多くなった。「大学院で学びたい」という思いは日々強くなり、念願かなってチャンスは巡ってきた。院生・仕事・母・妻…etcと、いくつものわらじをはき、時には全速力で走らなければならない状況もあるかもしれない。快く送り出してくれた家族・職場に感謝し、実り多き院生生活となるよう自己研鑽に励みたい。

シリーズ
のぞいてみよう 看護大学

「疫学と保健医療情報 A」

教授：新城正紀

「疫学と保健医療情報A」(1年次前期　必修　2単位　45時間)は、平成23年度の新カリキュラム導入により新規に設定された科目であり、Aクラスは私が担当し、Bクラスは別の教員が担当しています。A、Bクラスの授業概要および到達目標は同じだが、授業内容および計画、使用テキストおよび参考文献、成績評価の方法、学生相談・助言体制などは異なっています。

「疫学と保健医療情報A」の講義内容は、人々の生活と健康、疾病の予防と健康管理、疾病の頻度・分布、情報の処理・要約などであります。疫学は、疾病の種類および頻度・分布を明らかにし、健康障害を予防するための具体的な手段を提供する学問であり、看護学においても重要な科目であります。また、保健医療情報に関する知識・技術は、個人情報保護、患者のカルテ管理、医療者の守秘義務などにおいて必須であります。

1年次は、病態生理の学習を行っていない段階であり、疫学、公衆衛生学や保健統計などの疾病や健康に関する授業内容を含んだ「疫学と保健医療情報A」を看護学生に理解してもらうには、いろいろな工夫が必要であります。講義の途中で学生の理解度の確認をし、出席カードに「学習したこと・感想」を記入してもらい講義の振り返りを行っています。

「身体活動論」と「身体活動論演習」

講師：牧内　忍

「身体活動論」と「身体活動論演習」は、生活習慣病の予防に必要な運動、栄養、休養、その他体のしくみや老化などについて、幅広く健康に関する知識が身につけられる科目です。

本学では、保健師の免許を取得して、一定の科目を履修すると、養護教諭（学校の保健室の先生）の２種免許がもらえますが、その必要な科目に１年次の「身体活動論」と３年次の「身体活動論演習」も含まれています。

「身体活動論」は必修科目ですが、「身体活動論演習」は選択科目ですので、養護教諭の免許も取得したい人は、忘れずに登録して、履修して下さい。

「身体活動論演習」は、非常勤講師の仲村悦子先生が担当してくださり、ストレッチや気功を中心に、体の動かし方が学べます。

国際学会に参加して

助手：與座千代子

平成25年2月21日(木)～2月22日(金)にタイのバンコクで、第16回東アジア看護学術フォーラム(16th East Asia Forum of Nursing Scholars: EAFONS)が開催されました。この学会は、日本、フィリピン、タイ、香港、韓国、台湾、シンガポールの7つの東アジア諸国の看護系大学の博士課程の学生や学識者との交流を目的に開催されているものです。今回私は、島しょ保健看護の研究テーマについての示説発表を行いました。この学会に参加し、多彩な研究内容やプレゼンテーションの方法、また、国外の看護職者同志が今後の看護の研究や教育についてディスカッションを深めている姿を目にし、今後取り組むべき自己の課題が認識できました。まずは、自分の研究分野における国外の研究の動向の把握と、英語によるプレゼンテーションやコミュニケーション力の向上に取り組んでいきたいと思っています。

「平成25年度 新入生宿泊研修」

1 年次部会　助手：大島泰子

4月26日、27日の一泊二日の日程で、新入生宿泊研修が県立玉城青少年の家で行われました。「新入生と教員が生活体験を共有することで、学生間、学生教員間の相互理解を深め、学び合う関係の基盤をつくる」ことが目的のこの研修は、今年度が初の試みです。1年生81名、3年生8名、看大ゼミナール履修者3名、そして教員36名の計128名という大人数での参加でした。

1日目は開会式から始まり、ウォークラリーのフィールドビンゴ、バーベキュー、キャンプファイヤーを囲んでの歌や踊りとフォークダンス、ロールケーキにろうそくとクラッカーで祝った誕生会、ナイトウォークラリー。二日目はドッジボール大会に閉会式という、1年生、3年生、そして学生部長をはじめとした教員が企画した趣向を凝らしたたくさんのスケジュールでした。学生、教員ともに熱気あふれる豊かな時間を楽しみ、親睦を深めました。

今年は例年に比べると少し気温が低めのようでしたがお天気に恵まれました。海を望む小高い玉城の緑は陽の光を受けて青々としており、新入生の看護の基盤づくりとなる4年間のスタートを祝福しているようにも感じられました。

性・命の達人

サークル活動紹介

キラリサークル

3 年次：知花真弓

性・命の達人キラリサークル（通称キラリ）は、4月9日に、“子宮（しきゅう）の日”と題して、今年初めて「子宮の日パネル展示」を教育管理棟1階ロビーで（4月2日～4月15日の期間）実施しました。若者に増え続けている子宮頸がんについて「子宮頸がんは検診とワクチンによって予防できる唯一のがんという現実を知って、自分のこととして行動してもらいたい」ことが目的です。子宮頸がんは女性特有のがんとしては、乳がんに次いで罹患率が高く、特に 20 ～ 30 代のがんでは第1位となっています【図1】。

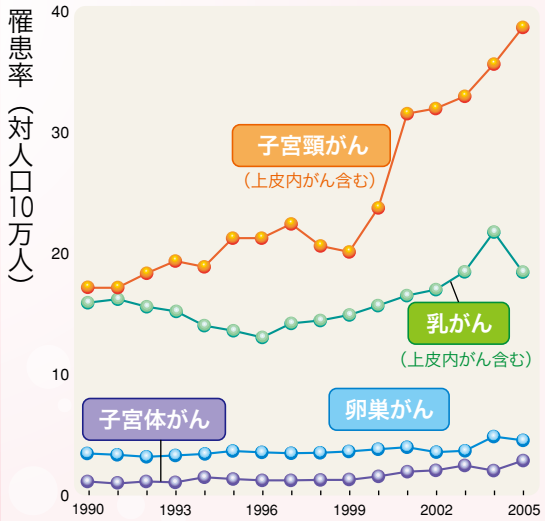
子宮は、妊娠・出産に直接関わる大切な身体の部分です。20 ～ 30 代の女性で増加傾向にあることはとても悲しい事です。20 代になると子宮がん検診の案内が届きますが、検診を受ける女性は少ないのが現状です（2010 年沖縄県子宮頸がん受診率 32.6%（20 歳以上）目標値 50%／国民生活基礎調査より）。検診＋ワクチン接種が子宮頸がん予防の基本であること、特に性交経験が無い人のワクチン接種は効果が高いことを知って欲しいと思います。

展示内容は、子宮の機能、子宮頸がんの罹患率・死亡率のデータ、ワクチンに関する内容をパネル作成し配布用のパンフレットも設置しました。また、NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会が作成したバッチの配布やお菓子の配布なども行いました。

感想として、「ワクチンを接種しよう」「検診に行こうと思った」「子宮・身体って大切なんだなってあらためて思いました」等があり、今回のパネル展示の目的を果たすことができたのではないかと思います。

LOVE

【図1】
女性特有のがん：罹患率の推移（20～30 代）



国立がん研究センターがん対策情報センター　地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975 年～2005 年）より作図

シンポジウム開催

「島しょに求められる看護職者の役割拡大」

包括的専門看護師養成事業副責任者　教授：神里みどり

平成 25 年 3 月 2 日（土）、「島しょに求められる看護職者の役割拡大」と題して、本学においてシンポジウムを開催いたしました。開催目的は、本大学院の新教育課程である「包括的専門看護師」の成果報告会、ならびに地域住民、行政および離島医療、公衆衛生看護の専門家等からご意見を頂き、島しょに求められる看護職者の役割拡大について討論することです。内容は、本大学に期待する使命や離島医療に求められる人材育成、地域住民が期待する離島医療・看護、島しょ保健看護への提言や島しょに求められる看護の役割拡大についてでした。学内外から 111 人の参加者があり、参加者の声として、本大学院の島しょ保健看護の取り組みやその意義などを理解することができ、島しょ保健看護の重要性や認識が高まったというたくさんのご意見を頂きました。

本助成事業は今年度が最終年度であり、島しょに求められる看護職者の役割拡大について、大学内外の声を反映させながら島しょ保健看護に特化した質の高い大学院教育プログラムを構築していきたいと考えております。今後とも皆様からのご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

ナーシング・キャリアカフェ OPEN!!

平成25年3月17日、沖縄にナーシング・キャリアカフェがオープンしました。

大学間連携共同教育推進事業ワーキンググループ　助教：高橋幸子

4 月 20 日開催ナーシング・キャリアカフェの様子

ナーシング・キャリアカフェは、看護学生、看護系大学の卒業生、看護のプロフェッショナルが、お茶を飲みながら語りあえる場です。このカフェは、平成24年度大学連携共同教育推進事業として文部科学省に採択された「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」の事業の一つです。この事業では、折れにくさを持った「しなやかな使命感」を有する看護師の育成を目指し、九州・沖縄の8つの看護系大学と5つのステークホルダーが協働事業を展開していきます。ナーシング・キャリアカフェでは、毎月1回、連携大学の卒業生や看護のプロフェッショナルをゲストとして招き、看護学生と交流機会を持ちます。看護学生にとっては、身近な卒業生から体験談を聞くことができ、他大学の看護を学ぶ仲間と意見を交わすことができます。さらに、看護学生自身が交流会案を企画することもできます。

場所は西原町きらきらビーチ向かい、ムーンテラス東崎の2階です。大学を離れ、海の見える開放的な空間で、将来の夢や希望を語り合いましょう!

（連絡先：orenkei@okinawa-nurs.ac.jp 大城）

3月

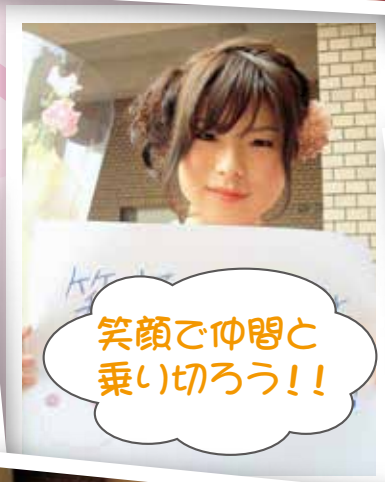
新たな出発！ 卒業生からのメッセージ

去った3月15日、平成24年度沖縄県立看護大学の「看護学部卒業式」ならびに「大学院修了式」、「別科助産専攻修了式」が挙行されました。

卒業・修了生は、看護学部看護学科83名、大学院7名、別科助産専攻19名で、晴れ晴れと志高く学舎を後にしました。

後輩や新入生達へのメッセージを残してそれぞれの目指す希望に向かって新たな出発!!です。

学部生



別科助産専攻

大学院生

発見！素敵な横顔
別科助産専攻新任教員

教授：峰岸まや子

4 月 1 日付けで別科助産専攻の教授に着任しました峰岸まや子です。

今までの災害救護経験（御巣鷹山日航機墜落事故・伊豆大島全島民避難・東日本大震災）や JICA のシニアボランティアとしてエジプトで行った大学病院での院内教育、また国における看護政策等決定の場での体験を基にいろいろな観点から助産学について、学生たちとともに考えていきたいと思っています。平成 20 年 4 月からはじまった別科助産専攻も今年で 6 年目となります。前任の先生方が築かれた伝統をさらに発展できるよう、そして「ベッカーズ6」と皆様方に愛されるよう、微力ながら頑張ってまいります。

まだまだ駆け出しのベッカーズ6ですが、これからもご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

講師：大城すぎの

好きなこと：美味しい物を食べること、
映画鑑賞

今年4月に新しく別科助産専攻の講師として着任しました。講義に追われる毎日ですが、希望に満ちてキラキラした眼差しの学生と一緒に学ぶ楽しさを感じています。また改めて助産師の専門性の深さに気づき、講義する私も身が引き締まる思いです。後期は実習が続きますが、妊・産・褥婦さんとの関わりを通して学生に助産の楽しさを伝えられたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

講師：中原芳子

茨城県つくば市から来ました。今は時間も精神的な余裕は全くありませんが、学生達の清々しさに刺激を受けて、私も頑張らなくちゃと奮起している状況です。

今まで沖縄県のことはほとんど知らなかったので、街並みやお店や、お惣菜など、生活の場面ではいろんな体験が新鮮で面白いです。実は暑いのがとっても苦手で、これからくる沖縄の夏に恐れおののいているのですが、沖縄だからこその夏の楽しみ方があるのかなと少し前向きになってきました。ドライブが好きで、運転は全く苦になりません。スポーツは、やるのも観るのも好きです。貢献できる教員になることと、沖縄を楽しめる人に早くなる、というのが今の目標です。

退官記念最終講義

精神保健看護　當山冨士子教授
「沖縄戦による心の傷あと」

精神保健看護　講師：大川嶺子

當山冨士子教授の最終講義が 3 月 22 日に行われました。當山先生は開学当初から本学の教育にご尽力くださり、特に沖縄戦体験者の精神保健について継続的に研究して来られました。

當山先生は、終戦から 67 年目の昨年（平成 24 年）、沖縄戦を体験した 75 才以上の高齢者を対象に調査を行った結果から、その 4 割が PTSD を起こす可能性が高いと報告されました。PTSD とは、怖い思いをした記憶が心の傷となり、そのことが何度も思い出されて恐怖を感じ続けることです。戦争を体験した高齢者は、テレビや新聞での基地関連の報道だけでなく楽しい祭りの花火からも、恐怖や不安を伴って戦争での体験を思い出すとのことでした。

當山先生は、現在も続く沖縄戦による心の傷あとを意識した高齢者の心のケアの大切さを強調しておられました。先生は退職後もこの研究を続けられるとのことですので、今後のご活躍が期待されます。また、精神保健に携わる後輩としましても、沖縄戦の影響を意識した高齢者への対応を受け継いでいきたいと考えています。

教職員の動き

●就任・転入＜平成 25 年４月＞

就任

学 部 長	嘉手苅英子
学生部長	大湾　明美
附属図書館長	神里みどり
教　　授	永島すえみ
教　　授	川崎　道子
教　　授	峰岸まや子
講　　師	中原　芳子
講　　師	大城すぎの
助　　手	宮里　暁乃
助　　手	永野　佳世
助　　手	大島　泰子

転入

事務局長	新城　　清
総務課長	森山　朝榮
主　　査	西表　敏克
主　　査	伊志嶺麻理
主　　査	玉城　綾子

●退職・転出＜平成 25 年３月＞

退職

教　　授	當山冨士子
教　　授	知念　榮子
講　　師	知念　正江
講　　師	嵩元　リカ
講　　師	當山　紀子
助　　手	高原　美鈴
助　　手	鈴木ミナ子
助　　手	高宮　里沙
事務局長	大嶺　良則

転出

総務課長	安次富　均
主　　査	玉那覇悦子
主　　任	當眞　嗣朗
主　　任	重久　舞子
主　　任	仲井眞美幸
主　　任	知名　　賢

●平成25年度の主な大学行事（平成25年4月～平成26年3月）

4 月 3 日 (水) 入学式
4 月 8 日 (月) 前期授業開始
5月15 日 (水) 開学記念日
7月27 日 (土) オープンキャンパス
8月18 日 (日) ～9月6日 (金) ハワイ研修
9月14 日 (土) 大学院入試
9月21 日 (土) ～22日（日） 第 15 回看大祭
10 月 1 日 (火) 後期授業開始
11月16日(土) 特別選抜入試（看護学科）
11月16日(土) 推薦選抜･社会人特別選抜入試(別科助産専攻)
12月13日(金) 卒業論文発表会
1月18日(土) ～19日(日) 大学入試センター試験
2月12日(水) 一般選抜入試（別科助産専攻）
2月25日(火) 一般選抜入試（前期・看護学科）
3月12日(水) 一般選抜入試（後期・看護学科）
3月15日(土) 卒業式

受験生向け平成 25 年度のイベント

○オープンキャンパス･大学入試説明会2013

日時：平成 25 年 7 月 27 日(土)
午前 10 時より午後 3 時

○第 15 回看大祭

日時：平成 25 年 9 月 21 日(土)～ 22 日(日)

※詳しくは大学ホームページをご覧下さい。

沖縄県立看護大学
〒902-0076　沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL (098)833-8800(代表)
FAX (098)833-5133
http://www.okinawa-nurs.ac.jp

「かせかけ」とは

琉球古典舞踊「かせかけ」に用いる道具

かせかけとは、琉球古典舞踊女七踊りの一つです。綛（かせ）とは紡いだ糸を巻く道具で、綛掛けとは布を織る糸をこしらえている様子を指しています。沖縄県立看護大学は、国際的視野に立つ看護職者の育成をめざしています。この踊りのように丹念に糸を紡ぎ布を織って綺麗な着物に仕立てていく、その一途の心と地道にして洗練された「技術」･「感性」･「情熱」そして優しさは、「知識」の継承・創出とともに、本学の看護職者を生み育む教育・研究の原点に相通ずるものであろうと、広報誌の名称にしました。

沖縄県立看護大学　検索